

平成28年東通村消防団出初式



観閲する越善村長

1月7日、東通村体育館駐車場を会場に、平成28年東通村消防団出初式が行われました。

昨年は猛吹雪の中の挙行となりましたが、今年は一転、日差しが差し込み、新春らしい穏やかな天候の中での実施となりました。東通村消防団288名は、濱端源三団長の指揮の下、特別参加の下北試験場消防隊とともに越善靖夫村長の観閲を受け、防火・防災への気持ちを新たにしました。

式では、参集した団員の現況報告・通常点検が行われ、越善村長や濱端団長ほか関係者が砂子又八幡宮へ拝礼し、今年1年の無災害を祈願しました。

場所を東通村防災センター前に移し行われた分列行進では、濱端団長を先頭に3大隊に分か



現況報告をする濱端団長

れた団員が堂々と行進。続いて行われた纏振り演技では、力強く華麗な纏振りが披露されました。
濱端団長からは「不屈の消防精神のもと、地域住民の強い信頼に応えるため、なお一層の訓練に励み消防人としての自覚と誇りを忘れることなく、日常活動に精励したい」と決意が述べられ、越善村長は「東通村消防団の伝統を大切にしながらも、引き続き、消防署との連携をもつて、日々の訓練と消防活動に精励されるよう強く願います。」と訓示しました。



団長の指揮のもと一糸乱れぬ分列行進



力強さと、舞うような纏振り



砂子又八幡宮にて無災害を祈願



歴史ある団旗の整列